

来年度は事業費を増やす考えは

市長 / 努力をしていきたい



林田 久富 議員

農林行政について、昨年度までは5割補助であったのが本年度からは8割補助となった施策について

林田議員 昨年と比較して事業費はどうなったか。
松本市長 当初予算では、昨年度より800万円を増額し、2,000万円を計上した。

林田議員 今年の夏頃には事業費が足りないと言った事だったが、原因は。
松本市長 補助率を8割に引き上げたことや、6月の豪雨に伴う被災箇所が昨年より増加したことが、主な原因であると考えられる。

林田議員 現在、何件の事業が出来ていないのか。

松本市長 申請された全てについて対応している。

林田議員 来年度は事業費を増やす考えは。

松本市長 積極的に取り組んで行きたい。

林田議員 この事業の要件は。

農林水産部長 農道とか水路等、受益者が2戸以上の農業用施設に対して、事業費の限度額が200万円、それに対する8割の160万円が補助金の上限という事になる。



平成28年6月豪雨時被害

建設行政について、昨年度までは4,000万円であったが、本年度は8,000万円にして対応をされている事について

林田議員 現在、要望箇所は何件あるのか。

松本市長 合併後584件の要望があった。そのうち375件は対応済み、残りは209件である。

林田議員 優先順位の基準、また関係者への説明はどうされているのか。

松本市長 危険な箇所や二次的被害の恐れのあるものを優先的に対応している。

林田議員 来年度は事業費を増やす考えはあるか。

松本市長 できるだけ早く市民の要望に応えられるように努力をして行く。

建設部長 今年から、道路及び水路の改良工事などを自治会主体で施工する場合、市が補助をするという事、金額の上限が30万〜200万まで。これまで法定外公共物、赤道など市では対応できなかった箇所を地元主体で施工する時などにこの補助金を出す。

下水道事業について

林田議員 合併浄化槽の設置基準は。

松本市長 浄化槽設置が認められていなかった、中原ため池水源及び宮原水源地域については、設置できるようになった。

議会ミニミニ通信

大分県由布市議会のみなさんが南島原市を訪れました

平成28年11月7日に大分県由布市議会の教育民生常任委員会の6名が視察研修のため南島原市を訪れました。

研修事項は「布津福祉センター」「湯楽里」について、「廃校を活用した『南島原食堂』」についてでした。

初めに、有家庁舎の会議室にて、研修項目についての説明と質問が行われました。

その後、現地視察のため、旧塔ノ坂分校にある南島原食堂へ移動し、現地視察を行い、最後に布津町にある湯楽里へ移動し視察を行いました。



由布市議会教育民生常任委員長挨拶

南島原食堂では、集客の工夫をはじめ、調理の方法や、予算、南島原食堂の目的について質問があり、湯楽里では、温泉施設の目的、入浴料金の価格設定や客層、湯量などについての質問がありました。



南島原食堂



市長挨拶